

広報

# ただみ

12  
2011 月号

No. 499  
平成23年12月10日



## 今月の表紙

明和保育所の祖父母参観で行われた「うち豆」作り体験。使われた大豆は保育所の子どもたちが育て収穫したもの。みんなで楽しく豆をつぶした。【関連記事13頁】

第41回只見町文化祭	2~5
第6回全国学校給食甲子園	6~7
只見とおきの話・福島民報出版文化賞受賞 他	8~10
上半期財政状況報告	11
町の話	12~13

～みんなの絆でよりよい町へ～

## 第41回

# 只見町文化祭

第41回を迎えた只見町文化祭が、11月3日、町下町民体育館をメイン会場に開かれ、町内外から約1500人が来場、にぎわいを見せました。

町下町民体育館前で行われた開館式で、文化祭実行委員会長の目黒町長は「7月29日に発生した豪雨で只見町は甚大な被害を受けました。その災害からの復興に向け、皆さんの絆をより強力なものとし、よりよい町にしていくための文化祭になればと思います。さらに、地域文化の伝承を通じて文化意識を高めるとともに温かい心のふれあいと豊かな人間性を育み、生き生きとした地域づくりにつなげていただきたい」とあいさつを述べました。続いて、目黒町長、五十嵐拓町議会議長、飯塚恒夫町文化協会長、横山大太郎町教育委員長の4名によりテープカットが行われ、詰めかけた町民の方などが次々と入場されました。

今年の文化祭は災害からの復興をメインテーマに行われ、会場の中央には町民の皆さんが復興を願い作製した折り鶴1万2千羽がつり下げられ、高さ5メートルにもなるその姿は一日も早い復興を祈願していました。また、復興ぞうりも販売、売上金の一部は義援金として町に寄附されました。

メインコーナーでも、豪雨災害からの復興に向けて、町の取り組みや方針を紹介、さらに被災前と被災後の様子を写真で紹介したほか、小学生から中学、高校生の復興に関するアイディアや夢を紹介すると同時に入賞者を表彰しました。（アイディア大賞は4〜5ページで紹介）

また、場内では体験メニューも準備され、つる細工、折り紙、俳句・短歌づくりの各体験ができましたり、手づくり紙芝居も上演され、たくさんの方が参加、指導を受けながら作品を仕上げていました。

健康づくりコーナーでは「ぼくとわたしの自慢の朝ごはんコンテスト」の表彰式が行われ、6名の入賞者に目黒町長から賞状や記念品が手渡されました。また、只見町名誉町民で8月に亡くなられた皆川政二郎（雅舟）氏の厳選作品を展示したコーナーも設けられ、雅舟氏の生い立ちやご功績も紹介されました。

体育館の壁には、ブナの木メッセージコーナーとして、只見・朝日・明和の各保育所の子どもたちが描いた力強いブナの巨木の絵が貼られ、訪れた方々が復興への思いを葉の形をした紙に書いて貼り付けていました。

町民芸術、手工芸、町民文芸、民芸品、只見高校PRの各コーナーには日々の努力の成果がうかがえる作品の数々が展示され、入館者に感動を与えていました。

町赤十字奉仕団が行なったバ

ザー、体育館ピロティで行われた物産販売なども大勢の方でにぎわい、大好評でした。さらに、町下野球場リニューアル記念として、元ヤクルトスワローズの野口寿浩捕手と元ロッテマリーンズの和田孝志投手を講師に招き、野球教室も開かれ、集まった小中学生が憧れの元プロ野球選手から楽しくアドバイスを受けていました。この日は、食育講演会や父と子のふれあい運動教室、成法寺観音堂などを見学する文化財めぐりツアーも行われ、参加者は思い思いの文化に触れる一日を過ごしました。

この文化祭をひとつのステップに、そのテーマのとおり「みんなの絆でよりよい町へ」一日も早く復興することを改めて強く感じた一日でした。



▲只見町長らによるテープカット



# 第41回只見町文化祭

# 只見町復興に向けて 文化の力発信



右上: 12,000羽の復興「折り鶴」  
右中: (故)皆川雅舟氏の作品展  
右下: プナの木にメッセージをはる小学生

左上: メイン会場の町民体育館  
左中: 復興について紹介したメインコーナー  
左下: 元プロ野球選手が指導した野球教室



# 夢大募集

## 大賞受賞のみなさん

### みなさんの作品を紹介します～



只見小学校6年  
酒井 結咲

#### あいさつから始めよう

私が只見町を元気にするためにできることは、「あいさつ」だと思います。今、只見町は、野菜などを作って出荷をしても、風評被害のせいであまり売れないことがあります。またひどい時は、出荷さえできないこともあります。こんな状態で只見町は元気を失っていると私は思います。けれど私は震災前の只見町にもどってほしいと思っています。

そのために私にできること、私達にできることは、「あいさつ」だと思います。あいさつは震災前の只見町と今の只見町を比べると減ってきていると私は思います。「あいさつ」が上手なのは只見町の特ちょうでもあり、只見町の良い所です。そんな「あいさつ」を震災のせいでなくしたくはありません。

目を見て、笑顔で、大きな声で「あいさつ」をするのは簡単です。それは震災前は只見町のだれもができていたことだから。だから今でもその「あいさつ」ができるということです。「あいさつ」をする人、された人、だれでも元気になるということです。

そんなことを考えたので私は、町中にポスターをはりたいたいと思います。そのポスターを見て、「あいさつ」の大切さ、すばらしさを思い出してほしいからです。少しでも早く、あのころの只見町にもどってほしいです。だから私は今できることを、精いっぱい行いたいと思っています。



▲入賞者のみなさん「おめでとう」



只見小学校6年  
酒井 香菜子

#### 食べ物の力で

私は、今只見町の人々が元気をなくしているから、みんなを「食べ物」で元気にしたいと考えました。それが「うまいもんフェスタ」です。これは、只見町の人々が自信のある料理などを作ってそれをきそうというフェスタで、一位～三位を決めます。初めに、作った料理をみんなで食べて、食べた

中で一番おいしかった料理を選ぶのです。

選ぶ基準は、おいしい物だけでなく、アイデアがあったり、元気がでそうなメニューです。部門も二つに分かれていて、子ども部門と、大人部門です。その中できそえます。赤、黄、緑の食べ物がバランスよくあるといいと思います。

只見町の人々が元気になって、笑顔になってほしいと願っています。そして、みんなを「食べ物」で元気にできたらそれはすごいことだと思います。なので私は、「うまいもんフェスタ」を考えました。



▲賞状を受け取る酒井結咲さん



# 「只見町復興のためのアイディア」

## ～アイディア大賞を受賞された

### 『只見町復興のためのアイディア・夢大募集』入賞者 【敬称略】

部門	賞名	作品の題名	学校名	学年	氏名
小学生	大賞	あいさつから始めよう	只見小学校	6	酒井 結咲
小学生	大賞	食べ物の力で	只見小学校	6	酒井 香菜子
小学生	大賞	只見町朝の歌	只見小学校	3	小林 聖佳
小学生	大賞	何でもいいことしたい	只見小学校	2	小野 佑月
小学生	大賞	うけとった人がうれくなる手紙をわたそう	只見小学校	2	五十嵐 せな
小学生	入賞	大雪合戦	只見小学校	6	目黒 史也
小学生	入賞	ブチお祭り	只見小学校	6	山内 綾
小学生	入賞	自然の強さを経験して	朝日小学校	6	酒井 雪音
小学生	入賞	只見町の復興を目指して	朝日小学校	6	八久保 洋介
小学生	入賞	思いをこめて	只見小学校	5	大竹 涼華
小学生	入賞	只見にブナを植えよう	只見小学校	5	目黒 杏里
小学生	入賞	只見町こうべん当ウォーキング	只見小学校	3	新国 理紗
小学生	入賞	えま	只見小学校	3	高島 琉世
小学生	入賞	只見の写真館	只見小学校	3	目黒 拓海
小学生	入賞	只見町のめいぶつを作ろう	只見小学校	2	さかい かなえ
中学生	入賞	復興のために…	只見中学校	1	齋藤 咲希



### 只見町朝の歌

只見小学校3年  
小林 聖佳

わたしは、只見町に元気が、もどってほしいです。

毎日朝に、朝の歌をながしてほしいです。元気な子どもの声をながしたらいいと思います。おとしよりや、ひさいした人たちが元気になると思うからです。歌で只見町を元気にして、只見町を歌でいっぱいにしてほしいです。

只見小、朝日小、明和小、只見中学校の音楽さいのがっそうやがっしょうをながしてほしいです。



### うけとった人がうれくなる手紙をわたそう

只見小学校2年  
いがらし せな

①二年生の国語の学習で『うけとった人がうれしい気持ちになる手紙をわたそう』という学習をしました。

②このかつどうを只見町ぜんたいにひろめたいです。

③いろいろなところに手紙の紙をおいておいて書きたいときに書いてポストにいれると、かかりの人が、おくってくれます。



### 何でもいいことしたい

只見小学校2年  
小野 佑月

①ちいきの人で何かしてほしい人のところに子どもたちで行きます。

②たとえば、ぞうきんがけをしてほしい、草をおしってほしい、うたをうたってほしいなど、子どもにできることなら何でもいいです。

③『何でもしたい』の子どもたちに「ありがとうけん」をわたしてもらいます。

④そのけんはお店のものと交かんできます。

# 第6回

# 全国学校給食甲子園



▲表彰状を手にする横田みえ子さん(中央)と目黒千里さん(左)と目黒町長



▲只見町学校給食センタースタッフのみなさん

# 只見町学校給食センターが 全国大会で大健闘

特定非営利活動法人21世紀構  
想研究会が主催し、全国学校給  
食甲子園実行委員会の運営で11  
月5日から6日に女子栄養大学  
駒込キャンパス(東京都豊島区)  
で行われた「第6回全国学校給  
食甲子園」に、只見町学校給食セ  
ンターが出場しました。

この大会は「地場産物を活か  
した我が校の自慢料理」をテー  
マに、全国の学校給食で提供さ  
れている郷土を代表する料理を  
競う大会で、食育を啓発するこ  
とと地産地消の奨励を目的とし  
て行われました。

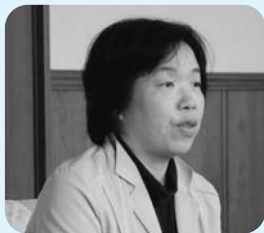
只見町学校給食センターは、  
「坂田の恵みごはん」をはじめ、  
全8品目の献立でエントリーし、  
第1次選考で県代表に、第2次  
選考で東北、第3次選考で北海  
道・東北ブロック代表2校のう  
ちの1校に選ばれ、全国205  
7の参加校から見事、決勝(全国)  
大会の出場権を手に入れました。  
決勝大会は、全国を6ブロック  
に分割し各ブロックから2校を  
選出、計12校で各校(施設)自慢

のオリジナル給食を制限時間60  
分以内で2名の出場者が調理し  
後片付けまでを行い、その過程  
や盛り付け、彩り、食味などを14  
名の審査委員がその場でチェッ  
ク、優勝、準優勝、入賞を決定し  
ます。

調理の手際良さや味付けはも  
ちろんのこと、地元の新鮮な食  
材をいかに活用するかも勝敗を  
左右します。この12校(施設)が  
息詰まる熱戦を繰り広げた決勝  
大会に出場されたのは、栄養教  
諭の横田みえ子さんと調理員の  
目黒千里さんです。横田さんは  
「センター全員の支えがあつた  
のでこの大きな大会に臨むこと  
ができた。感謝します」と話し、  
目黒さんは「時間内にすべてを  
終わらすことがとても大変でし  
た」と大会を振り返っています。

決勝大会の成績は入賞となり  
ました。本大会を戦いぬき貴重  
な経験をされたお二人に感想を  
お聞きしましたのでご紹介しま  
す。





### 全国学校給食甲子園に出場して

栄養教諭  
**横田みえ子**さん

11月6日(日)、北海道・東北ブロック代表として第6回全国学校給食甲子園に出場してきました。今回応募した献立は、只見町の地場産物を意識して立てたものです。

吉村タキ子さん宅に伝わる伝統野菜「建次なす」は、昨年度明和小学校2年生が栽培し、縁あって学校給食に使うことができました。また、坂田の梁取徳雄さんが栽培している雑穀、JA青空市場や朝日直売所の食材、小川の渡部和彌さんが栽培している青大豆など、どれも「これからの子どもたちの健康を支えてくれる食材だ」と自信をもって紹介することができました。

本番では、夏に考えた献立で地元の食材が使えないものもありましたが、目黒千里さんとチームを組み、時間内に仕上げることが目標に取り組みました。練習時間は少しでしたが、初めての挑戦にしては、楽しくできたかなと思います。子どもたちが日々目標に向かって頑張っている「暑い夏」を、私たちもちょっぴり体験できたことに感謝です。



### 給食甲子園に参加して

調理員  
**目黒 千里**さん

私は毎日、給食センターで子どもたちに安全でおいしい給食を作っています。

今回、横田先生の子どもたちを思う温かい気持ちと素晴らしいメニューとなり、全国2,057校の代表として、給食甲子園の決勝大会へ出場することができました。この貴重な決勝大会に出場させて頂いた事は、私にとって素晴らしい経験となりました。

当日は、全国レベルの大会であり、各代表チームに圧倒される場面も多々ありましたが、日頃から給食センターの人たちに助けられ、チームワークで給食を作っていた経験が活かされ、本番の60分間の中で衛生面の配慮、調理温度の記入などの手順をこなし、なんとか時間内に仕上げることができたので本当に良かったと思っています。

今回、給食甲子園の場に参加をした貴重な経験を励みに、これからも子どもたちが給食を食べている笑顔を思い浮かべながら、毎日の給食を作り続けたいと思います。最後に、子どもたちにも私たちが給食センターみんなの思いが届くといいですね。

## 只見町学校給食センター全国大会出場の出立は……

### 祭礼彩る、山の幸・海の幸いっぱいの郷土料理「ざくざく」

#### 【献立の名前 \* ( )は地場産物】

源氏豆  
(青大豆・黄大豆)

アスパラガスの梅鯉あえ  
(アスパラガス)

すいか

牛乳



建次ナスのえびチリソース  
(建次ナス・玉ねぎ・トマト・にんにく)

えごまふりかけ(えごま)

坂田の恵みごはん  
(米・キビ・アワ・アマランサス)

ざくざく  
(じゃがいも・大根・ごぼう・人参・干しシイタケ・キノコ)

「建次ナス」は只見町の伝統野菜です。坂田地区の吉村タキ子さん宅に代々伝わる品種で大きくなっても柔らかかく、種が少ないのが特徴です。炒めてえびチリソースをかけた。町内産の青大豆、黄大豆は、年間を通して利用する食材。「源氏豆」が人気で、よく噛ん

で食べる習慣を身に付けるため、カミカミメニューとして登場します。「ざくざく」は、材料を多く用いるの意味の郷土料理で、山の幸・海の幸が入った具だくさんの煮物です。給食センターでは9月の祭礼に取り入れる料理です。

福島民報出版文化賞を受賞

「只見とっておきの話」

昨年、町制施行50周年を記念して出版された「只見とっておきの話」が、第34回福島民報出版文化賞を受賞しました。



▲福島民報出版文化賞の賞状を手にする目黒町長

7月15日の授賞式には、久保克昌副町長と編集を担当した新国勇さん（只見）が出席、出版文化賞奨励賞を授与されました。審査委員長から「永久保存にたる本」という賞賛もいただきました。

「只見とっておきの話」は、広報ただみ誌上に「町史とっておきの話」として掲載された全186話を再編集した本で、昨年全戸に配布されています。「とっておきの話」は現在も続いていて、今月号で通算209回、17年にわたる長寿連載となつていきます。これに携わっている新国勇さんから感想をお聞きしました。なお、本書は米屋書店（只見）で、一冊千円で購入することができます。



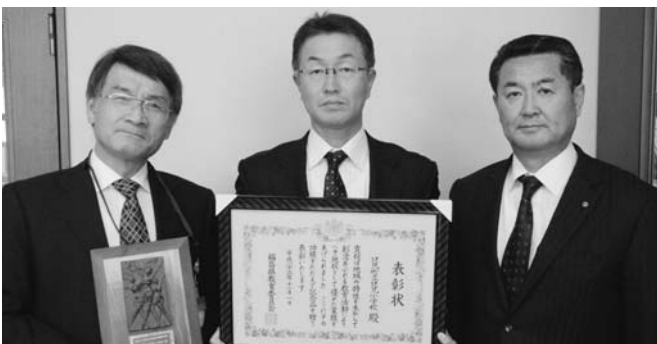
▲「只見とっておきの話」

教育・文化関係表彰式

優れたへき地教育校に只見小学校

福島県教育委員会が主催した平成23年度教育・文化関係表彰式が11月1日に、福島市音楽堂で行われ、へき地教育で顕著な功績をあげられたとして只見小学校が表彰されました。

これまでの授業力向上に関する研究や、エコ活動、教育環境の改善など、様々な特色ある教育活動が認められ受賞となりました。これからも、地域色豊かな教育をお願いします。



▲表彰状を手にする高橋吉博只見小学校長と目黒町長(右)、齋藤教育長(左)

出版文化賞を受賞して



新国 勇さん(只見)

自分の町の歴史や文化、自然がよそにはない貴重なものだったということがよくあります。たとえば、只見のブナや巻物が国内トップだったり、戊辰戦争では長岡藩を助け、絶滅危惧種のクロホオヒゲコウモリやユビソヤナギがいるとかいうことは当たり前の話ではなく、只見の誇りとしていいものです。

「町史とっておきの話」は、一話読み切りで連載してきたのですが、この長い取り組みが今回の受賞につながったと思います。町では只見学の推進を提唱しています。この受賞がその礎になることを願っています。

最後に執筆された多くの方々、そして調査や聞きとりに快く協力していただいた町民の皆さまに深くお礼申し上げます。





▲松下政経塾で宿泊研修に参加する受講生



▲研修の様子

松下政経塾で宿泊研修  
地域人材育成ダイヤモンドプラン事業

昨年度からスタートした教育委員会重点事業「ふるさと只見・人材育成講座」では、今年度、2期「産業を興す人材育成」と3期「集落づくり支援員の育成」の各受講生から8名の皆さんが松下政経塾（神奈川県茅ヶ崎市）の行

う宿泊研修に参加しました。期間は11月8日から9日の二日間行われました。

只見町宿泊研修のテーマは「魅力のある地域づくり、人づくり」で、塾員（卒業生）の方や現役の塾生の方の講義や活動報告を聞いたりと、討論会を行うなど、貴重な体験ができた研修となりました。参加者は「町の活性化に貢献したい。町の良さを情報発信したい」と意欲を表しました。この研修で得たことを活かし、将来の只見町を担うリーダーとして活躍されることを期待したいと思います。

松下政経塾は、政治や経済分野、教育研究、マスコミ分野などで活躍する多くの人材を輩出しています。

7月新潟・福島豪雨被害状況調査  
参議院災害対策特別委員会

松下新平委員長をはじめとする参議院災害対策特別委員会の委員12名と国の担当者が11月10日に、只見町と金山町を訪れ、7月29日に発生した豪雨による被害や復旧状況などの実情を調査確認しました。

只見町では、橋が落ちた小川橋や叶津川の護岸崩落箇所などを視察、その後、只見地区センターで、松本友作副知事はじめ目黒町長、長谷川律夫金山町長が松下委員長に要望書を手渡ししました。要望には復興に向けた財政支援やJR只見線の早期復旧などが盛り込まれており、手にした松下委員長は「皆さんの考

えや意向を政策に活かすため前向きに検討する」と述べました。



▲松下委員長に要望書を手渡す目黒町長(左)

国道289号  
「花立橋」の仮設橋を設置

7月の新潟・福島豪雨で被災し、通行不能となっていた国道289号の花立橋（楢戸地内）の仮設橋が設置され、11月11日の午後から通行が可能となりました。今後も、本橋の復旧工事が進められ、交通規制も行われますので、通行には十分ご注意ください。



▲設置された仮設橋(左の橋)

## 只見町小中学校音楽祭

水害に負けない元気な歌声

11月16日に只見町小中学校音楽祭が只見中学校体育館で開かれ、只見・朝日・明和小学校の3年生、4年生児童と只見中全校生徒が参加しました。

参加した子どもたちは、7月の豪雨災害の影響で例年より練習時間が少ないなか、一生懸命に練習し、その成果を披露しました。各小学校の合奏では息の合った楽器演奏



▲只見中全校生の合唱

奏を、合唱では大水害に負けない元気な歌声を響かせていました。只見中全校生や特設合唱部の合唱も水害のハングを感じさせない清らかなで繊細な美しい歌声を披露、保護者や町民の方など聴衆を感動させていました。豪雨災害の記憶も新しいなか、元氣と勇気をアピールしたすばらしい音楽祭でした。

## 伊南川・只見川 再生復興フォーラム

復旧はより良い川にするチャンス！

只見川電源流域振興協議会の主催で11月23日に南会津町伊南会館において伊南川・只見川再生復興フォーラムが開かれ、約130名が参加しました。

内容は二部構成で、第一部では「水害にどう向き合うか」と題し、伊南川・只見川の洪水被害から、川の復元を考えることについて、目黒町長や長谷川律夫金山町長らがパネリストと

なり、意見が交わされました。目黒町長は「スピード感のある災害復旧を行い、いち早く安全・安心な川をつくる。原形復旧よりも改良復旧を行なうてほしい」と考えを述べました。

続いての第二部では「復興に向けた河川活用を考える」と題し意見交換があり、ただみ養魚場代表の小沼信孝さんがパネリストで参加されました。

## 7月新潟・福島豪雨 ダム放流に関する住民説明会

7月27日から30日にかけての豪雨にかかわるダム放流に関する住民説明会が11月18日に只見小学校で開かれ、約60名が参加しました。

目黒町長並びに辻村電源開発東日本支店長のあいさつに続き、支店の担当者より、奥只見や田子倉ダムなどの放流状況や豪雨時のダム操作の確認結果と、ダム放流に関する住民への周知方法の改善などを含む今後の調査や検討内容について、スクリーンを使っての説明がありました。



▲真剣に説明を聴く参加者

参加者からは、ダム操作について疑問の声が出されました。

## 福島県議会議員選挙

只見町開票区：開票結果(11月20日執行)

星 公正(無所属) 2,188

渡部 勝博(民主党) 1,351

\*有権者数 4,189人

\*投票率 85.44%



▲災害復旧への考えを述べる目黒町長(右から2人目)



# 上半期財政状況 お知らせ します

## ◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	942,750,000	524,447,099	55.63
2	地 方 譲 与 税	67,500,000	20,124,021	29.81
3	利子割交付金	1,000,000	388,000	38.80
4	配当割交付金	200,000	127,000	63.50
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	25,190,000	62.98
7	自動車取得税交付金	11,001,000	2,345,000	21.32
8	地方特例交付金	9,207,000	9,207,000	100.00
9	地方交付税	2,446,164,000	2,098,943,000	85.81
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	540,000	54.00
11	分担金及び負担金	20,771,000	9,773,825	47.06
12	使用料及び手数料	29,883,000	13,598,364	45.51
13	国 庫 支 出 金	207,083,000	43,243,922	20.88
14	県 支 出 金	523,745,000	10,568,185	2.02
15	財 産 収 入	21,092,000	8,045,379	38.14
16	寄 附 金	16,168,000	2,132,500	13.19
17	繰 入 金	680,388,000	43,000,000	6.32
18	繰 越 金	111,267,000	111,267,328	100.00
19	諸 収 入	88,637,000	15,697,701	17.71
20	町 債	447,500,000	0	0.00
	合 計	5,665,357,000	2,938,638,324	51.87

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成23年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

平成23年度一般会計当初予算は、現年度予算40億1,200万円です。スタートしましたが、東日本大震災、新潟・福島豪雨災害などによる6回の補正で56億6,535万7千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が2億1,751万4千円ありますので、総額58億8,287万1千円となっています。

## ◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	執行率
1	議 会 費	82,708,000	45,825,703	55.41
2	総 務 費	708,269,000	245,353,400	34.64
3	民 生 費	963,537,000	248,673,259	25.81
4	衛 生 費	443,407,000	133,099,955	30.02
5	労 働 費	10,013,000	2,256,000	22.53
6	農 林 水 産 業 費	453,452,000	62,048,313	13.68
7	商 工 費	402,700,000	139,804,127	34.72
8	土 木 費	310,435,000	104,928,729	33.80
9	消 防 費	216,809,000	133,847,312	61.74
10	教 育 費	322,930,000	144,440,246	44.73
11	災 害 復 旧 費	970,104,000	4,665,795	0.48
12	公 債 費	736,333,000	301,426,081	40.94
13	予 備 費	44,660,000	0	0.00
	合 計	5,665,357,000	1,566,368,920	27.65

◆ 主な事業内容は、地域公共交通運行事業委託Ⅱ1,064万円、新多目的交通システム運

歳入のうち地方交付税を平成22年度と比較してみますと、普通交付税（7月に交付額算定）が22億3,786万4千円となり、前年度対比172万5千円の増となっております。特別交付税（平成24年3月に交付額決定）についても、前年度並みの交付を見込んでおります。

（※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」の2種類に分かれています。）

## ◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	執行率	
1	国民健康保険事業	585,324,000	240,631,439	41.11	224,313,764	38.32
2	国民健康保険施設	432,379,000	91,265,276	21.11	164,287,151	38.00
3	後期高齢者医療	122,085,000	13,069,900	10.71	47,870,062	39.21
4	介護保険事業	561,574,000	261,579,642	46.58	212,830,784	37.90
5	介護老人保健施設	244,375,000	69,730,883	28.53	118,020,774	48.29
6	訪問看護ステーション	22,000,000	2,630,292	11.96	9,914,974	45.07
7	地域包括支援センター	10,000,000	742,000	7.42	4,541,667	45.42
8	簡易水道	359,560,000	30,431,490	8.46	68,779,668	19.13
9	観光施設事業	32,420,000	0	0.00	6,737,423	20.78
10	交流施設	42,935,000	0	0.00	35,159,726	81.89
11	集落排水事業	473,958,000	36,831,850	7.77	106,483,115	22.47
12	朝日財産区	10,600,000	10,440,306	98.49	117,500	1.11
	合 計	2,897,210,000	757,353,078	26.14	999,056,608	34.48

◆ 宮補助金（雪んこタクシー）Ⅱ2,068万円、子ども手当支給事業Ⅱ6,776万円、災害救助事業Ⅱ3億2,996万円、西部環境衛生組合負担金Ⅱ1億1,947万円、コミュニティビジネスモデル支援事業Ⅱ1,000万円、中山間地域等直接支払事業Ⅱ2,038万円、旅行村いこいの森整備事業Ⅱ3,307万円、広域圏消防費負担金Ⅱ1億3,530万円、七十

◆ 萩遺跡発掘調査事業Ⅱ2,069万円、災害復旧事業Ⅱ9億7,010万円などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。



朝日保育所(11月17日)

## 元気に!じょうずに!かっこよく!保育所おゆうぎかい



明和保育所(11月18日)



只見保育所(11月25日)



▲ 美しいメロディーを奏でる出演者

### 音 第3回森林のふれあいコンサート 楽を通して人と人とのつながりを...

11月13日に森林の分校ふざわで「第3回森林のふれあいコンサート」が開かれました。第一部では地元のピアノ教室の皆さんによる合唱やピアノ演奏、町外から参加された方々のマンドリンやギター演奏などが披露され、第二部でもチェンバロやリコーダーなどのアンサンブルとピアノのソロ演奏などが聴衆を魅了しました。町内外の出演者と音楽愛好グループの皆さんなどが交流、絆を深めました。

### 元 メッセージカード贈呈式 気ひまわりプロジェクト

11月7日、熊本県宇城青年会議所から4名の方が只見小学校を訪れ、1～2年生の児童にメッセージカードを手渡しました。この事業は自然災害で被災した子どもたちを応援し元気づけることを目的に行われたもので、宇城市立当尾小学校の1～2年生児童が収穫したひまわりの種やメッセージカードが届けられました。只見小の1～2年生児童もお礼のメッセージカードを作り会議所の方に手渡しました。



▲ メッセージカードを手にする只見小児童



## う ちゃれんじ農園サポート事業 ち豆ってむずかしいなあ～

福島県が進める食育推進事業「ちゃれんじ農園サポート事業」により明和保育所の子どもたちが世話をし育て、収穫した大豆で「うち豆」作り体験が、11月30日に行われました。この日は祖父母参観日で、おじいちゃんやおばあちゃんの慣れた指導もあり、保育所児みんなで楽しく大豆をたたいていました。できた「うち豆」は、後日、給食のみそ汁などに入れ、おいしく食べるとのことです。



▲ 一生懸命に大豆をつぶす明和保育所児

## 歌 第29回ふるさと演芸会 や踊りで楽しく交流

地元の愛好者が歌や踊りを通して親睦を深める第29回ふるさと演芸会が、11月23日に朝日地区センターで開かれ、約60名が来場、楽しいひとときを過ごしました。演芸会では舞踊やカラオケなどの愛好者やグループが出演し、30曲の演目で次々に歌や踊りを披露、そのうつくしい歌声や艶やかな舞に、詰めかけた方からは歓声とともに大きな拍手が送られ、最後まで盛り上がりました。



▲ しっとりとした舞を披露する出演者

## が 2011年「ふるさと只見の集い」 がんばれ只見が合言葉



▲ 左から、ふるさと只見会代表の馬場賢一さん・目黒町長・五十嵐拓町議会議長

東京都とその近郊に在住の只見町出身者約70名が出席され、10月30日に東京都千代田区のスクワール麹町で「ふるさと只見の集い」が開かれました。毎年、交流と親睦を目的に開かれる集いですが、今年は7月末の大水害を考慮し中止の意見もありましたが、最終的に「がんばれ只見！」を合言葉に行われ、会員の皆様から寄せられた義援金19万円が目黒町長に手渡されました。ありがとうございます。

## 只 第13回ブナセンター講座 見の自然を食べる



▲ 只見の自然食を紹介する平出美穂子さん

10月30日、ただみ・ブナと川のミュージアムで、只見の自然を食べると題し、第13回ブナセンター講座が開かれ、23名が受講しました。講師は郡山女子大学准教授の平出美穂子さん。平出さんはブナ林と川の恵みからなる自然食のことや奥会津の食文化などを紹介したのち「この只見でしか味わうことができない自然の恵みがあります。子どもに奥会津の尊い文化を伝えてほしい」と話されました。

# Anna先生のLife in JAPAN Vol.11



■Anna・George  
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。  
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。  
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。

本当に一年が過ぎるのは早い  
 ですね。もう12月ですね。また  
 雪がたくさん降りますね。今年  
 の冬も、スノーボードに挑戦す  
 るのが楽しみです。今年はおも  
 と上手になって、ほかの郡内の  
 スキー場に行ってみたいと思  
 います。それと今年は蔵王の樹氷  
 と長野の温泉ザルもみたいなあ  
 と思っています。ですので、き  
 っと忙しい冬になることと思  
 います。もちろん、只見の雪ま  
 つりも楽しみです。

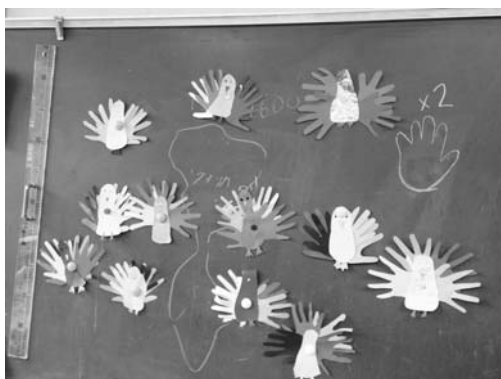
クリスマスも近づいてしま  
 したね。イングリッドや数多くの  
 国で一番大きなイベントでしょ

う。今年のクリスマス、私は、  
 初めてイングリッド以外で過  
 します。

クリスマスと感謝祭のレッ  
 スンを町内の小学校で行いま  
 した。また、今年は感謝  
 祭（アメリカのお祭り）も初  
 めて友人たちと過ごしまし  
 た。今年も除雪で汗を流され  
 ていることと思います。健康  
 管理には気をつけて生活し  
 てください。

紹介します写真は朝日小の3  
 年生と一緒に感謝祭のレッス  
 ンで作った七面鳥のペーパー  
 フトです。とっても上手にでき  
 ていますね！

（訳・只見中・福地）



## 広報ただみ診療所

朝日診療所

所長 星野弘尊

### 『冬の「かいかい」の正体』

只見の冬がやって参りました。

今年も除雪で汗を流され  
 ていることと思います。健康  
 管理には気をつけて生活し  
 てください。

冬は背中や両足が「かゆく」  
 なる方も多いと思います。特  
 に高齢者の方は多いのではな  
 いでしょうか。何を隠そう私  
 も「かゆい」のです。「かいか  
 い」です。

主な原因は、皮膚の乾燥で  
 す。

皮膚の表面には皮脂があり、  
 皮脂には天然保湿因子が含ま  
 れています。皮脂の減少が皮  
 膚の乾燥を引き起こします。  
 高齢者は皮膚の老化によって、  
 皮脂分泌が低下しているため、  
 乾燥し、「かゆく」なりやすい  
 のです。（皮膚の老化には、加  
 齢による生理的老化、紫外線  
 暴露による光老化、喫煙によ  
 るタバコ老化があります）特  
 に下腿、大腿、腰部は皮脂分  
 泌量が少なく、乾燥しやすい

のです。

皮膚の表面は外界にさらさ  
 れているので、外界の影響を  
 受けます。最も重要なのは『環  
 境湿度』です。冬期は大気の  
 湿度が低下しています。さら  
 に、加湿なしの室内暖房や電  
 気毛布などの使用により、皮  
 膚表面に接する空気の相対湿  
 度はより低下します。湿度が  
 低い環境では皮膚の乾燥がお  
 こりやすくなります。生活習  
 慣でも、入浴時に高温の湯を  
 好んだり、手ぬぐいなどでご  
 しごし皮膚をこすったり、石  
 けんなどの洗剤の過度の使  
 用は、皮脂を取り去ることに  
 なります。水のシャワーのみ  
 で皮膚の垢やホコリ汚れの8  
 割は除去できるといわれてい  
 ます。過度の清潔志向による  
 洗い過ぎは禁物です。しかし、  
 逆に「洗うと皮膚疾患が悪化  
 する」と思い込んで入浴や洗  
 浄を避けると、汚れた皮膚に  
 よりさらに皮膚病変が悪化し

ます。何事もやり過ぎないこ  
 とです。

乾燥に対するスキンケアの  
 ポイントですが、保湿外用薬  
 が効果的です。湯船につかる  
 入浴を行ったあと10分以内に  
 皮膚が水分を含んだ状態で保  
 湿外用薬を塗るのが最も効果  
 があります。皮膚温が高くな  
 っており、外用薬がよく伸び  
 るというメリットもあります。  
 塗ったあとの皮膚が全体にし  
 っとりするか表面が外用薬の  
 油分で少しテラツと光るくら  
 いに、乾燥した皮膚全体に塗  
 るようにしましょう。

高齢者においては皮脂が不  
 足する分をスキンケアで補う  
 ことが望まれます。「皮脂が  
 とれないように、シャワーで  
 済ませて入浴しない、あるいは  
 石けんを使わない」という  
 考えではなく、気持ちよく入  
 浴して、そのあとにスキんケ  
 アを行う習慣をつけることが  
 大切です。



## 只見瞽女夜話

### 瞽女ミニコンサート

さらばによりては これはまた  
いずれにおろかは あらねども  
種々なる利益を たずぬるに

よき新作も なきままに  
葛の葉姫の あわれさを  
あらあら読みあげ たてまつる

夫に別れ 子に別れ  
もとの信太へ 帰らんと  
心の裡に 思えども

いや待てしばし わがこころ  
今生の名残りに 今一度

童子に乳房を 含ませて  
これより信太へ 帰らんと  
保名の寝つきを 伺うて  
差し足抜き足 忍び足  
我が子の寝間へと 急がるる

我が子の寝間にも なりぬれば  
眠りし童子を 抱き上げ  
目をさましやいの 童子丸  
なんぼ頑是が なきとても  
母の云うのを よくもきけ

そちの生みなす この母が  
人間かえと 思うかえ  
まことは信太に棲家なす  
春乱菊の花を 迷わする  
千年近き 狐ぞえ

(祭文松坂・葛の葉の子別れの段  
冒頭より)

昔は繭の出荷が農家の重要な  
収入源でしたので、蚕はお蚕さ  
まとあがめられました。信州な  
どの養蚕業のさかんなところでは、  
瞽女唄を聴かせると、良質の生  
糸を出すといわれて喜ばれました。

もともと瞽女唄は祝言の唄とし  
て家の病人を元気づけ、安産と  
子育てを助け、稲作・麦作・綿  
作の豊饒をもたらすものと期待  
されましたので、信仰心のある  
人は娯楽を享受しただけでなく、  
瞽女に畏敬の念をいだき、あた  
たく迎え入れたのでした。

瞽女という老人の芸能のイ  
メージがつきまといますが、彼  
女たちも昔は娘時代もあり、若々  
しい唄声を響かせていたことを

忘れてはいけません。たとえば、  
現代の歌手である宇多田ヒカル  
さんの母親の藤圭子さんは瞽女  
の子だと言います。幼いころ、  
母親に手を引かれて旅をしたそ  
うです。そんな情景を思い浮か  
べてみると、イメージがすこし  
若返るかもしれませんね。そし  
てもう一つ、津軽三味線のルー  
ツは、越後から渡った瞽女が伝  
えた瞽女三味線なのです。津軽  
の方は魂が激しく噴き出す感が  
ありますが、双方とも

哀愁を帯びた響きを伴  
いますね。

昨秋、只見高校から  
美術講話を頼まれました  
たが、そのなかの一時  
間を使つてかつて只見  
にも来ていた瞽女につ  
いて紹介しました。実  
際に長岡在住で小学校  
一年のときから小林ハ  
ルさん系列の瞽女唄を  
習つていて伝承活動を  
している若き女性・金  
川真美子さんに来てい  
ただき三十分ほど生徒



瞽女唄を伝承する金川真美子さん

たちの前で演じてもらいました。  
当初、瞽女唄を受け入れてもら  
えるか不安でしたが、演者が若  
い女性で、しかもふだんは聴き  
慣れない三味線と唄声なので、  
意外にも心を奪われたようで、  
自分たちの近い祖先が聴いてい  
た音色に最後までじつと耳を傾  
けてくれていました。若い演者  
から若い聴衆へ放たれる瞽女唄  
の世界に、消えた文化の風がよ  
みがえつて見えた瞬間でした。



# 町民文芸

## 只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

聞き返す事多くなり補聴器の広告を足の冷ゆるまで見つ  
古川 英子  
ひと頃は賀状交換せし友の遺影に香焚き別れを惜しむ  
吉津 政枝  
来し方を孫に重ねて行く道を友と語りぬ古希迎へたり  
関谷登美子  
五十嵐英子  
施設より帰れば迎へくるごと鈴虫競ふさまに鳴くなり  
五十嵐夏美  
悪しきことするにあらねど亀虫は臭ひのゆゑに嫌はる哀れ  
馬場 八智  
小豆挽ぐ我が傍らの虫の声短き秋を惜しむがに鳴く  
齊藤ちひろ  
夫の笠かぶり物干せば硝子戸に映るわが影葉山子の如し  
渡部ゆき子  
異状氣象山に及ぶか紅葉の色の冴えずに秋深みゆく  
目黒 富子  
久々に帰省せる兄に安全と一言添へて漬菜振舞ふ  
角田 一男  
川魚の婚姻色に暮れなづむ雲は妊婦のかたち崩えゆく  
渡部ヨリ子  
紅葉と崩れし山の肌色が晴れたる空に映りて侘し  
新国 洋子  
水害に迂回路松坂峠とふ話聞きしが狭き道なり

(出 詠 順)

## 只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

磐梯を下りて盆地の秋茜  
洋子  
引く度に香の立ち昇る牛蒡畑  
一穂  
爽やかや食の進みし朝かな  
バスで行く秋の立山雨の中  
吹き寄せし落葉新し切通し  
沢石の妙な明るさ冬近し  
礼  
青空に上がる日の丸運動会  
邦 男  
父と子の二人三脚運動会  
雑木山踏み入りしより秋の声  
隆 堂  
押し出し土石を巡る秋思かな  
秋ともし師の添削を読みかえす  
邦 夫  
ゲートボル差し入れのあり茹でつ  
栗  
豪雨受く稲田黄に染み刈期くる  
リウコ  
残照を百までとして秋彼岸  
笑 羊  
飯椀にとろろのすべる冬はじめ  
石鹼を吊るす蛇口の小六月  
石佛の文字にふるる秋の園  
康 女  
コスモスの散るにまかせて暮れに  
けり  
里芋や親いもばかり並びおり  
都  
秋うらら泣いてごまかす母のひざ  
初雪や水渦の跡の土砂被う  
敦 子  
短日や納屋に納める種袋  
女にはする事多し木の实落つ  
一 灯  
ゴム長のエナメル光る大根摘み  
また来ると去年の日付や備忘板  
又 志 歩  
米磨ぐや夕餉の支度時雨降る  
目覚むれば七十七の冬来たる  
恒 夫  
喜寿のわれよろこぶべきや年忘れ  
種茄子の色極まれり天青し  
吉 児  
嫁大将と言われし妻の墓囲う  
冬の夜や軟膏を貼る母の背  
修 一  
大根の出来を問いつつ漬ける妻



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎82-5050
	☎82-5210
企画班	☎82-5220
町民生活課	
税務班	☎82-5110
町民班	☎82-5100
保健福祉課	
保健班	☎84-7005
福祉班	☎84-7010
産業振興課	
農林班	☎82-5230
交流推進班	☎82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎82-5270
生活環境班	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
訪問看護ステーション	☎84-2130
	☎84-2101
こぶし苑	☎84-7005
保健福祉センター	☎84-7005
只見地区センター	☎82-2141
朝日地区センター	☎84-2111
明和地区センター	☎86-2111

## RECRUITMENT

### 募集

#### 平成24年度 只見町奨学生

優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金をお貸しします。希望者は、次の事項に留意され、お申し込みください。

#### ●対象及び条件

▽平成24年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望している方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。

▽貸与を希望される方の、本籍又は住所が只見町に引き続き6ヵ月以上有すること。

#### ●利用可能貸与額

▽高等学校 月額12,000円以内  
▽私立大学

▽月額40,000円以内  
▽国立大学・短期大学及び各種学校 月額30,000円以内  
▽支度金(4年制大学に限る) 大学入学時 300,000円以内

#### ●奨学資金の返還

奨学生は、卒業もしくは退学・奨学金辞退等の月より6ヵ月の返還準備期間をおき、7ヵ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

#### ●申込手続

教育委員会・各地区センター・只見中学校・只見高校・南会津高校・町内郵便局・東邦銀行只見支店・J A会津みなみ只見支店にある「願書」に必要事項を記入し、在学校に「推薦書」を作成・交付していただいた上で、家族全員の所得証明書及び住民票(世帯票)を添え、願書等の交付の際に同封される「募集のしおり」の注意事項を厳守の上、教育委員会事務局に提出してください。

#### ●募集受付期間

2月17日(金)まで

#### ●奨学生の採用決定

教育委員会決定し本人に通知します。通知は、3月中旬頃になります。

#### ▼問い合わせ

教育委員会事務局学校教育班  
☎0241-8215320

### 保健師等を めざす奨学生

只見町では、将来、町の施設で業務に従事しようとして、次のような職種をめざす方に対して奨学資金を貸与します。

#### ●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士

※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

#### ●貸与額 月額10万円以内

#### ●奨学資金の返還及び免除規定

▽奨学資金貸与条例により  
▽原則として10年以内に返還  
▽ただし、資格取得後直ちに町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

#### ●申し込み手続

奨学資金貸与申請書に住民票抄本・履歴書・健康診断書等を添えて保健福祉課に提出してください。

用紙等は申し込みのあった方に直接送付しますので、保健福祉課にご連絡ください。また、後日必要書類を提出していただくこととして、進学予定の方も受け付けます。

#### ●募集期間

平成24年2月17日(金)まで

#### ▼問い合わせ

保健福祉課保健班  
☎0241-8417005

## 税 今月の納期

- 12月26日までに納めましょう
- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者医療保険料(5期)

## LIFE

### 生活

#### 個人事業税の 定期課税

県内で事業を営んでいる方を対象とした個人事業税の今年度課税分については、東日本大震災に伴う納期限等の延長措置により、納税通知書の発付を延期してまいりました。このたび課税の時期が次のとおり確定しましたのでお知らせします。なお、詳しくは南会津地方振興局県税部までお問い合わせください。

#### ▽第1期分

平成23年12月発付

(平成24年1月4日納期限)

#### ▽第2期分

平成24年2月発付

(平成24年2月29日納期限)

#### ▼問い合わせ

南会津地方振興局 県税部  
☎0241-6215214

# 生活

## 平成24年度保育所入所児童申込み受付開始

次により、平成24年度の保育所入所児童の申し込みを受け付けます。入所を希望される場合は期間内にお申し込みください。

### ●入所基準

平成24年4月1日現在で満1歳以上の児童で、保護者が仕事などをしていないために保育がでない児童

### ●募集定員

- ▽只見保育所 60名
- ▽朝日保育所 60名
- ▽明和保育所 60名

### ●受付期間

平成23年12月1日（木）～12月28日（水）まで

※時間は、午前8時30分から午後5時までで、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。ただし各保育所では土曜日の午前中も受け付けます。

### ●受付場所

- ▽保健福祉センター
- ▽只見町役場窓口
- ▽只見・朝日・明和保育所
- ▽朝日・明和地区センター

### ●申込書類

※受付場所に用意してあります。  
▽保育所入所申込書

### ▽保育申告書

●その他  
以前、提出された入所申込書の「保育の実施を希望する期間」が平成24年度も申し込まれている場合、今回は保育申告書のみ提出ください。また、平成23年12月現在退所されている児童は申込書が必要となります。

### ▽問い合わせ

保健福祉課福祉班  
☎0241-8417010

## 正しい操作で安全除雪

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

- ▽作業を行う前に必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。
- ▽雪詰まりを取り除くときは必ずエンジン停止してから雪かき棒を使って行いましょう。
- ▽回転部に近づくときは必ずエンジン停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。
- ▽発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。
- ▽除雪作業中は、雪を飛ばす方

## 町長室日誌

〈11月分〉

- 1日 辞令交付式、福島県県友会通常総会及び南会津地区鉄砲火薬類保安協会通常総会
- 3日 只見町文化祭
- 4日 福島県立医大訪問、国道252号雪国ゆめ街道期成同盟会要望活動、会津総合開発協議会役員による県要望活動
- 7日 只見町議会11月会議、金婚夫婦表彰式、只見町議会全員協議会、公共土木災害査定、林道施設災害査定
- 8日 朝礼、定例庁議、農地等災害査定
- 9日 公共土木災害査定
- 10日 参議院災害対策特別委員会災害調査
- 11日 福島県町村会役員による県選出国會議員との懇談会
- 14日 自治体における危機への対応セミナー
- 15日 臨時庁議
- 16日 公共土木災害査定、水の郷まつり実行委員会
- 18日 柏市総務部長来庁、町職員採用候補者（大卒程度・高卒程度）第二次試験、電源開発株式会社による住民説明会
- 21日 町職員採用候補者（看護師）第二次試験
- 22日 福島県町村会役員会及び知事との懇談会
- 23日 伊南川・只見川再生復興フォーラム
- 24日 季の郷湯ら里役員会、町長予算査定、南会津病院長と面談
- 25日 只見町議会11月第2回会議、表彰審査委員会、ふるさと再生応援団「HOTけねえ」との懇談会
- 28日 観光まちづくり協会理事会
- 29日 土砂災害から人命と地域を守る砂防会議、安全・安心の道づくりを求める全国大会
- 30日 全国町村長大会

向に人や車や建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

### ▽問い合わせ

社団法人日本農業機械工業会  
☎03-3433-0415

## 農商工連携プランニング講習会開催

只見川電源流域振興協議会では、奥会津地域内の農商工連携推進に向けた取り組みとして、農林業者、商工業者を対象に農商工連携の具体的なビジネスモデル構築を目的とした農商工連携プランニング講習会を開催いたします。農林水産業は奥会津地域を支える基幹産業であり、

農林水産業と都市を結び、地域活性化の切り札となるのが農商工連携です。

本講習会では、農商工連携を4つのグループに分け、ビジネスモデルを作る演習を行います。講義を聴くだけでなく、自らビジネスモデルを構築することによって、農商工連携を実践的にコーディネートする能力を身につけましょう。

●日時・内容  
▽1限目 12月16日（金）午後1時30分～午後4時

「農商工連携とは？地域の資源を把握する」

▽2限目 12月21日（水）午後1時30分～午後4時

「都市ニーズを把握する。5Pビジネスモデルとは？」

▽3限目 1月12日（木）午後1時30分～午後4時

「グループ別ビジネスモデル演習」

▽4限目 1月23日（月）午後1時30分～午後4時

「ビジネスモデル発表・講評」

### ●場所

金山町役場 4階 委員会室

### ●講師

NPO法人農商工連携サポートセンター

代表理事 大塚洋一郎氏

※参加を希望される方は、事前にご連絡ください。

### ▽問い合わせ

只見川電源流域振興協議会

☎0241-4815525



# 町民の消息

(11月1日～11月30日届出分) 敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

渡邊 琴音 (ことね)  
(女/拓・絵理) 福井

## ■ご結婚おめでとうございます

目黒 大輔(坂田) ♥ 渡部 美樹(福井)  
齋藤 貴之(神奈川県) ♥ 柳林 郁奈(黒谷)  
馬場 大輔(蒲生) ♥ 五十嵐八重(北塩原村)  
長谷川佑樹(埼玉県) ♥ 渡部 千晶(福井)

## ■おくやみ申し上げます

長谷部 鉄 男	77歳	叶津
菅 家 百合子	80歳	黒谷
馬 場 サツキ	99歳	梁取
本 名 彦 助	89歳	黒谷
酒 井 弘 助	82歳	福井
皆 川 ミ ヤ	89歳	熊倉
矢 沢 忠 雄	76歳	福井
岩 渕 義 寿	94歳	塩沢
増 田 ハル子	82歳	小川

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成23年11月1日現在

人 口	4, 8 5 6	(-4)
男	2, 3 2 7	(-2)
女	2, 5 2 9	(-2)
世帯数	1, 8 5 4	(-2)
高齢化率	4 1. 4 %	

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 10 出生 3 死亡 4

▽毎月、この「あとがき」を考えるのは、記事全体がまとまった最後になつてしまいます。今月も何とかなつた…という少々の安堵感と、精神的に息切れしているなかの作業ですが、もう少しでゴール…と自分に言い聞かせ、書いています。▽今年の秋は、カメムシが本当に多かったですね。そういう年は豪雪？とよく言われます。どうなるのでしょうか。ちよつと心配です。皆さん、雪囲いを万全に…。

## あとがき

- 1、 ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、 互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、 産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、 教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、 きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



地区センター長  
馬場 博美

只見地区センター  
図書室 ☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★コシノ洋装店ものがたり



小篠綾子/著

(講談社プラスアルファ文庫)

NHKドラマ「カーネーション」モデル自伝和装の時代に洋装に挑戦し、デザイナーとして独立。女手ひとつでヒロコ、ジュンコ、ミチコの「コシノ三姉妹」を育てた、大阪・岸和田の肝っ玉母さんの一代記。

## ★明日のマーチ



石田衣良/著 (新潮社)

時速4キロの行進に特に意味なんてない。ただどー野宿して見上げた満天の星の下で、廃校の暗い教室で、気がついた。この国は思ったよりもキレイだし、俺たちって思ったよりも遅いんだ。哀れんでなんか欲しくない。4人のマーチは、やがて数百人の仲間を得て、国をも動かすムーブメントになっていき…。爽快で力強い、著者初のロードノベル。

## ★フラガール3.11



清水一利/著 (講談社)

「日本中に笑顔、元気、希望をお見せします！」平成23年5月、フラガールたちは福島から全国へ飛び立った。被災地・福島県いわき市の「スパリゾートハワイアンズ」が、204日間の休業を経て営業再開に至るまでの道のりを描く感動のドキュメント。3月11日、被災した宿泊客のためにハワイアンズの社員は何を考え、行動に移したのか。震災の影響で自宅をうしなつたフラガール、じつは引退が決まっていたリーダーの「選択」。全国124カ所におよんだ「フラガール全国きずなキャラバン」の舞台裏。今なおつづく「風評被害」に対する会社の取り組み。

★只見地区センターの図書室が利用できます。図書室に関するご要望や購入図書のご希望など、お気軽にお寄せください。

## 冬芽(ふゆめ)

葉の落ちた冬に樹木を見ると、目につくようになるのが冬芽です。冬芽は晩夏から秋に形成され、休眠・越冬して、春に伸びて葉や花になります。

そして冬芽の観察をおもしろくさせてくれるのが葉痕(ようこん)です。葉痕は葉のついていた痕で、その断面にある斑点の数や並び方が樹種によって異なります。

冬芽と葉痕から、人や動物の顔を連想すると、愉快的表情のものが多くあります。よく観察すると、何でこんな風に並んで見えるのか本当に不思議です。樹木によってその表情はさまざまです。



オニグルミの冬芽と葉痕「羊の顔のよう…？」

### 特別展示

○森と生き物を描く ~平田美紗子イラスト展~  
期間:12月3日(土)~平成24年3月25日(日)

### 第14回ブナセンター講座

○自然を描く心と技  
講師:平田美紗子さん(静岡森林管理署)  
日時:12月11日(日) 午後1時30分~午後3時

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

### 豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。  
誠にありがとうございます。いただきました支援金については  
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義援金 7,858,217円 (176件)  
見舞金 5,961,983円 (46件)  
12月5日現在